

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立陽南小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成28年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成28年4月19日(火)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語A・B, 算数A・B, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語A・B, 数学A・B, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語A 71人 国語B 71人

② 算数A 71人 算数B 71人

5 留意事項

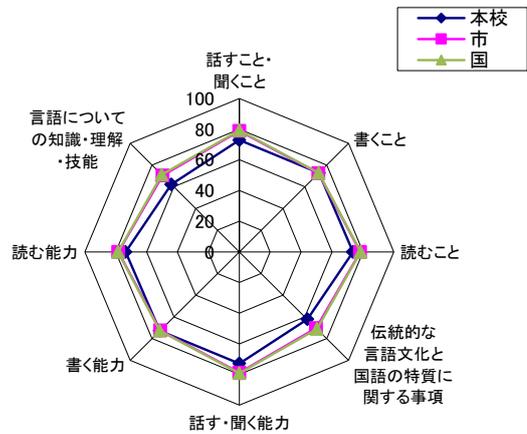
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、
「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立陽南小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

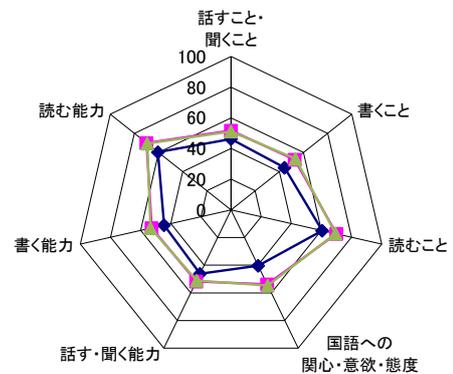
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	72.9	78.8	79.2
	書くこと	72.9	72.4	72.8
	読むこと	73.6	78.3	78.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	62.3	70.3	71.1
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	72.9	78.8	79.2
	書く能力	72.9	72.4	72.8
	読む能力	73.6	78.3	78.5
	言語についての知識・理解・技能	62.3	70.3	71.1



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	46.2	51.7	51.1
	書くこと	44.3	52.7	53.4
	読むこと	60.5	69.9	69.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	40.4	53.8	54.7
	話す・聞く能力	46.2	51.7	51.1
	書く能力	44.3	52.7	53.4
	読む能力	60.5	69.9	69.3
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

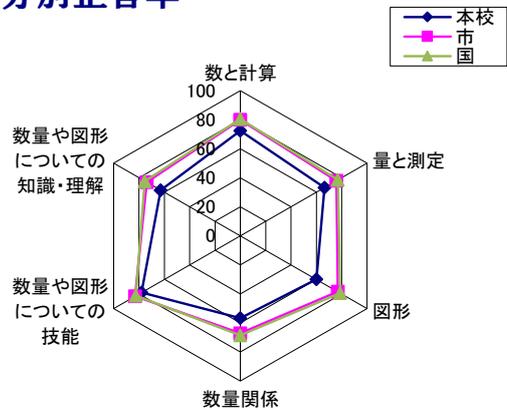
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●A(知識)では、正答率が72.9%であり、全国平均より6.3ポイント下回っている。B(活用)では、正答率が46.2%であり、全国平均より4.9ポイント下回っている。 ○問題形式別にみると、B(活用)では、質問の意図をとらえるという問題の選択式で、50.0%と全国平均とほぼ同じであった。	○常に話し手の意図を考えながら、聞くように指導していく。 ●朝のスピーチや学級活動での話し合いの時には、相手に分かりやすい話し方を意識して話をするよう支援していく。上手だった児童の話し方を例に挙げ、どんなところが良かったのかを具体的に指摘する。
書くこと	○A(知識)では、正答率が72.9%であり、全国平均より0.1ポイント上回っている。 ●B(活用)では、正答率が44.3%であり、全国平均より9.1ポイント下回っている。 ○目的や意図に応じて書くことがらを整理する問題は、正答率が80.0%と、全国平均を1.8%上回っている。 ●グラフや表を基に、自分の考えを書く問題については、全国平均を10ポイント以上下回っている。	●日記や授業の振り返り等で、自分の意見や考えを書かせる機会を多くする。書き方を具体的に提示して書かせることで、書き方を学ばせるとともに、書くことへの抵抗感を減らしていく。
読むこと	●A(知識)では、正答率が73.6%であり、全国平均より4.9ポイント下回っている。B(活用)では、正答率が60.5%であり、全国平均より8.8ポイント下回っている。 ○目的に応じて図と表を関係付けて読む問題は、正答率が94.3%と全国平均を1.2ポイント上回っている。 ●登場人物像について複数の叙述を基にしてとらえる問題では、正答率が52.9%と全国平均を11ポイント下回っている。	●物語文では、主人公や登場人物について、どの表現から人物像や気持ちが分かるのか、場面を切って読み取らせていく。 ●音読を十分に行い、あらすじがまとめられるようにする。 ●説明文では、接続語を確認しながら、段落のつながりを意識させ、要旨をまとめていくようにする。 ●筆者の考えに対して自分はどうか考えるかをまとめる活動も取り入れたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●A(知識)では、正答率が62.3%であり、全国平均より8.8ポイント下回っている。 ●漢字の読み書きの問題では、3問中1問しか全国平均を上回ることができなかった。 ●ローマ字を書く問題では、無答率が、全国平均より多かった。	●家庭学習や朝の学習で、繰り返し漢字練習を行い、定着を図っていく。 ●いろいろな読み方があるので、練習の仕方を工夫させる。 ●作文、日記、ノートなど、日頃から習った漢字を使うよう指導していく。 ●英会話の時間でも、アルファベットをやったので、ローマ字の復習も朝の学習などでやっていきたい。

宇都宮市立陽南小学校第6学年【算数】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

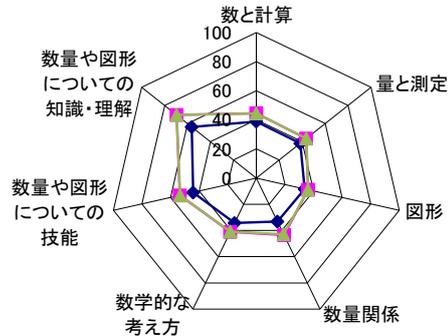
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	72.4	79.9	80.5
	量と測定	66.4	75.9	77.0
	図形	60.0	76.9	78.8
	数量関係	56.7	67.1	68.5
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	78.0	83.1	82.5
	数量や図形についての知識・理解	62.9	73.9	75.4



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	38.8	44.5	44.4
	量と測定	38.3	43.5	43.7
	図形	33.8	36.2	36.3
	数量関係	33.1	43.5	42.9
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	34.3	41.0	40.9
	数量や図形についての技能	44.3	53.5	53.3
	数量や図形についての知識・理解	56.4	69.6	69.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ●A(知識)では、正答率が72.4%であり、全国平均より8.1ポイント下回っている。B(活用)では、正答率が38.8%であり、全国平均より5.6ポイント下回っている。 ○繰り下がりのある減法の計算は、92.9%と全国平均を2ポイント上回っている。 ●除数と被除数の関係で商の大きさが変わる問題については、全国平均を12ポイント近く下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算は、定期的に繰り返し練習させ、正確に答えが出せるようにしていく。 ・乗法や除法の式の意味がまだ十分に理解できていない児童がいるので、式の意味を考えさせながら、立式させるようにする。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> ●A(知識)では、正答率が66.4%であり、全国平均より10.6ポイント下回っている。B(活用)では、正答率が38.3%であり、全国平均より5.4ポイント下回っている。 ○示された条件を基に、同じきまりが成り立つかを調べる問題では、94.3%と全国平均を1.7ポイント上回った。 ●単位量当たりの大きさを求める問題では、58.6%と全国平均を13.4ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決に必要な情報は何かを考えさせ、筋道を立てて自分の考えをまとめるよう指導していく。 ・単位量当たりの大きさ、図形の底辺と高さの関係なども繰り返し復習させる。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ●A(知識)では、正答率が60.0%であり、全国平均より18.8ポイント下回っている。B(活用)では、正答率が33.8%であり、全国平均より2.5ポイント下回っている。 ○図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断する問題は、34.3%と全国平均を8.9ポイント上回った。 ●直方体の面と面の位置関係を理解する問題は、正答率が50.0%と全国平均を28.0ポイント下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に図形を見ながら考えさせ、だんだんと頭の中でイメージできるようにしていく。 ・その時は理解しても、しばらくすると忘れてしまうので、自主学習などで復習する機会を多くする。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> ●A(知識)では、正答率が56.7%であり、全国平均より11.8ポイント下回っている。B(活用)では、正答率が33.1%であり、全国平均より9.8ポイント下回っている。 ●1を超える割合を百分率で表す問題では、正答率が34.3%と全国平均を16.6ポイント下回っている。 ○全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味については70.0%で、全国平均との差が4.4ポイントと少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・割合の理解が不十分なところが多いので、文章問題等で、図を描きながら、説明していく。 ・図を描いて解こうとしない児童が多いので、考えを整理するためにも描くことを習慣化させる。

宇都宮市立陽南小学校第6学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には、よいところがあると思いますか」で「当てはまる」と回答した割合が43.7%であり、全国の36.2%を7.5ポイント上回っている。また「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」の「当てはまる」の回答は62.0%あり、全国より5.7ポイント上回っている。このことから、本校6年児童は、自己肯定感が比較的高く、自分も他人も大切にしながら生活しているといえる。

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」の肯定回答の割合が87.4%であり、全国の肯定割合を1ポイント上回っている。また、「学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりを決めていると思いますか」の肯定回答の割合が87.3%と高く、全国の肯定割合を5.5ポイント上回っている。さらに「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」の肯定回答が90%と高い。このことから、本校の6年児童は、友達と協力しながら楽しく学校生活を送っていると考えられる。

●「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除く)」では、3時間以上と回答した割合が25%と高く、全国の割合を10ポイント近く上回っている。また、携帯電話やスマートフォンでの通話やメール、インターネットの利用時間も、3時間以上している割合が全国平均より5ポイント上回っている。家庭とも連携をして、情報機器の使い方、テレビやゲーム以外の放課後の過ごし方を提唱していきたい。

●「読書は好きですか」の肯定回答の割合が65%であり、全国の肯定割合を10ポイント下回っている。「学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日どれくらいの時間、読書をしますか」では、「全くしない」「10分より少ない」と回答した割合が43%と高く、全国平均を10ポイント近く上回っている。児童への声掛けや、学校や学級での読書に関する取組を工夫していきたい。